ペレ・グレイス

支援するオレンジリボン運動のポスター作品を決定

ネットワークビジネスによる化粧品の販売を行うペレ・グレイスはこのほど、社会貢献活動の一環として取り組む「オレンジリボン運動」への支援を行う中で協賛してきた「オレンジリボン ポスターキャンペーン」で、応募作品の中から「ペレ・グレイス賞」を決定した。今後は受賞ポスターを、自社のディストリビューターや会員顧客にも広め、オレンジリボン運動の認知拡大に寄与していく。

オレンジリボン運動は、NPO法人児童虐待防止全国ネットワークが総合窓口を担っている児童虐待防止の広報・啓発活動であり、ポスターキャンペーンは、公募を通じてより多くの生活者に子どもへの虐待問題について関心を持ってもらうことを目的としている。

今回、ペレ・グレイス賞に選んだのは、富山県富山北部高校の早勢涼華さんの作品。大小様々なハートのモチーフで埋めつくされたオレンジリボンの中にスマイルマーク風の笑顔がデザインされ、手書き文字で「愛でいっぱい」というキャッチコピーがつけられている。

佐藤知己社長は「虐待というと暗いイメージをもたれてしまいがちだが、『愛』をテーマにやさしく温かな愛情をイメージできる」と評しており、企業理念の1つに掲げる「愛」に則したデザインであったことも決め手になったようだ。

クラブコスメチックス

通天閣の天井画を復刻

大阪の「通天閣」免震改修工事と連動してクラブコスメチックスが寄贈することになっていた天井画の取り付け工事が完了し、7月3日、同社の中山ユカリ社長が竣工式と点灯式に参列した。

同天井画は、1912（明治45）年に完成した初代通天閣のエントランスに、クラブの前身である中山太陽堂が広告として掲出していた天井画を復刻寄贈したもので、100年の歳月を経て現代に「花園に遊ぶクジャク図」が甦った。

2014年7月に「未来」と「継承」をテーマに通天閣「NEXT210（ツーテン）」プロジェクトが始動し、同プロジェクトの趣旨に賛同した同社は、天井画を復刻・寄贈することで通天閣の「原点の継承」の一端を担いたいとして、「新・天井画」の寄贈を決めたという。

天井画の原画は、動植物など自然の風物を描くことの多い、新進気鋭の日本画家・沖谷晃司氏が制作した。

点灯式では、中山ユカリ社長が、クラブとして今回初めて天井画を寄贈できた喜びとともに、制作・取り付けに協力した人々への感謝の思いを述べた。

エステー

夏の恒例招待制ミュージカルで抽選会を開催

エステーはこのほど、8月に開催する招待制ミュージカル「赤毛のアン」の観覧希望者抽選会を本社で開催し、メディアに公開することで抽選の公正性と一般消費者の関心度の高さをアピールした。

今回、キャンペーンを展開した店舗は前年比で2割増の1万224店舗にのぼり、総計6000組・12000人超の招待枠に対し応募総数が17万6858件に達した。

なお、同ミュージカルは、8月16日の北海道札幌市を皮切りに、同27日の福岡県福岡市にかけて全国8都市で計10公演行う。

主催者サイドを代表して挨拶に立ったエステーの上月洋常務執行役は、「ミュージカルの楽しさや素晴らしさを多くの人に広めていくため、出演者・スタッフ・エステー一丸となって取り組んでいきたい」と述べ、成功へ意欲を見せた。

The Voice

産業廃棄物を天然美肌成分へ

広島大学大学院
生物圏科学研究科教授
加藤 範久 氏

加藤範久氏は、6月23日に行われた繊維メーカー・セーレンの「コモエースプレミアム」発表会にて、繭を守るたんぱく質の「セリシン」について紹介し、長い歴史の中で重要な交易品とされてきた絹に近年、新たな価値が加わったことを明らかにした。

繭を絹にする精練はセリシンを除去する工程であり、セリシンは廃液として捨てられてきた。

加藤氏は1996年にセリシンの量産化に成功したセーレンとともに2年後の1998年、セリシンに強い抗酸化作用があることを発表した。この発表以降、抗がん作用や大腸がん抑制機構などの機能をセーレンとともに次々と解明している。

セリシンは主に化粧品・食品・繊維加工・医療などの分野に関わっており、化粧品では保湿・抗酸化（美白）・ターンオーバーの3つ働きがあるという。

加藤氏は「セリシンを語る際に欠かせないのがアミノ酸組成だ」と語る。

セリシンのアミノ酸には、通常のたんぱく質には5%程度しか含まれない親水性の高い「セリン」が30%以上含まれている。人の肌の天然保湿因子であるNMFのアミノ酸組成と非常に似通った構成をしており、自然界に存在する物質の中で、最も組成が似ているという。

また、セリシンは人間の皮膚に浸透しやすく、ヒアルロン酸と比べて浸透スピードが早いとしている。

加藤氏は、「ヒアルロン酸と保湿性を比較してみると、セリシンは飛躍的に水分含有量が上がり、長時間持続する。ヒアルロン酸の水分含有は一過性であり、長時間維持できない」と力強く利点を述べた。

多くの女性が夏に気になる美白では、「シミ・ソバカスなどの原因であるメラニン色素の発生を助けるチロシナーゼの活性を阻害する。有名な美白成分のビタミンCよりも抗酸化力が強いことが実験で明らかになっている」とし、今後さらに研究が進んでいくことに期待をにじませた。（黒）

（禁無断転載）©R
本紙の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、堅く禁じられております。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構（JCOPY）（03-3513-6969）まで必ずご連絡下さい。